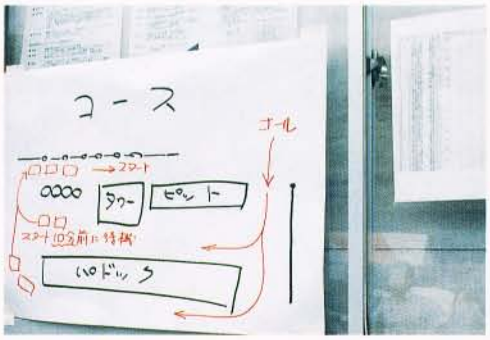
CMSC JOURNAL Vol. 35

ますます盛大に、'92CMSC全国大会。



8月22日、'92CMSC全国大会が開催されました。昨年好評だった東北サファリパーク・えびすサーキットの会場には、全国から本部及び各支部のメンバーと、その家族を含めた総勢約200名が大集合。近畿三菱の笠原常務をはじめ全国主幹販売会社の方々にもご参加いただいて、盛大に行われました。

さて、大会のメインイベントは、例年同様クローズドジムカーナ競技会。昨年の約2倍近い95選手の参加により、熱い闘いが繰り広げられました。エントリークラス区分は、軽クラス、FFクラス、FRクラス、4WDクラス、さらにレディースクラスとオープンクラスの計6クラス。各クラスそれぞれに、思わずギャラリーをうならせるようなアグレッシブな走りが見られ、参加選手のレベルの高さには目をみはるものがありました。その上、三菱WRCチームの木全巌総監督によるアナウンスが磨きのかかった名調子ぶりで場内いっぱいに響きわたり、ますますアツイ雰囲気を盛り上げていました。競技の運営全般に関しては、今年も地元CMSC福島のメンバーが担当。テキパキと見事なオフィシャルぶりで盛大なイベントをしっかりと支えてくれました。CMSC福島の皆さん、ありがとうございました。

さらにもう一つ。'92全国大会の話題は、10月19日より発売予定のランサーGSRエボリューションにも集まりました。当初からラリー参戦を照準に開発され、その開発には木全監督をはじめWRCドライバー篠塚建次郎、三菱WRCチームドライバーのケネス・エリクソン等が積極的に参加。ランサーの軽量・コンパクトなボディに、現在WRCで活躍、総合優勝を含む数々の実績をあげたギャランで培われた高い技術力を生かし、ラリーのあらゆる過酷な条件の中でドライバーの意のままに走ることができる高い水準の基本性能と、走ることを楽しみながら長距離ドライブを快適にこなせる充実装備を兼ね備えた車です。今大会では、このランサーGSRエボリューションをCMSCのメンバーだけに秘かに公開。開発にあたった木全監督から、自信にあふれる声で力強い説明がありました。

表彰式終了後の懇親会は、恒例のサファリパーク名物、牛の丸焼きパーティーで盛り上がりました。丸まる一頭の牛ともなると、さすがの迫力。女性の参加者からは思わず驚きの声もあがっていました。各メンバーどうし、楽しそうに語らう和やかな表情のうちに、トラブルもなく無事大会は終了。関係者の皆さん、本当にお疲れ様でした。

総勢約200人、和気合々の全国大会

▲CMSC岩手　▼CMSC群馬

CMSC仙台

CMSC島根

CMSC大阪

▲CMSC愛知　▼CMSC山形

CMSC岐阜

CMSC千葉

CMSC

CMSC青森

CMSC帯広

▼CMSC埼玉　▲CMSC

CMSC福島

▼上段左、4WDクラス優勝加藤一也選手(CMSC福島)、右 FFクラス優勝須田行雄選手(CMSC福島)、中段左より、オープンクラス
佐々木健太郎選手(CMSC青森)、支部対抗1、2、3位(福島、青森、仙台)、FRクラス優勝後藤庄悦選手(CMSC仙台)、下段左より、新型ラン
のエンジンルームをのぞき込む参加者、レディースクラス優勝大井こずえ選手(CMSC群馬)、軽クラス優勝斉藤賢司選手(CMSC福島

'92CMSC全国大会クローズドジムカーナ結果

●4WDクラス

1位	加藤一也	福島	1'14"17
2位	佐藤宥昭	福島	1'15"80
3位	櫛田正文	岐阜	1'16"98
4位	小館久	青森	1'17"10
5位	菅野茂	山形	1'17"63
6位	中田裕二	大阪	1'17"82
7位	飯塚恒守	群馬	1'19"65
8位	鈴木日出明	山形	1'19"70
9位	菅野仁司	香川	1'19"91
10位	葛西義和	青森	1'20"59

●FFクラス

1位	須田行雄	福島	1'13"80
2位	鈴木正孝	福島	1'15"32
3位	熊沢祥人	本部	1'16"60
4位	渋谷和彦	仙台	1'17"56
5位	川口昭一	帯広	1'21"04
6位	佐々木幸人	仙台	1'21"11
7位	吉野正則	愛知	1'21"43
8位	川道猛	愛知	1'21"91
9位	山口靖岳	愛知	1'22"29
10位	土江厚	島根	1'22"29

●FRクラス

1位	後藤庄悦	仙台	1'18"71
2位	工藤裕央	青森	1'19"95
3位	宗像善弘	福島	1'27"63

●軽クラス

1位	斉藤賢司	福島	1'24"24
2位	岩山利廣	大阪	1'24"82
3位	斉藤豪志	大阪	1'28"35

●レディースクラス

1位	大井こずえ	群馬	1'22"65
2位	糸山	千葉	1'33"99
3位	宇佐見康子	埼玉	1'38"33

●支部対抗(各支部高得点3名のポイント合計)

1位	CMSC福島	60ポイント
2位	CMSC青森	50ポイント
3位	CMSC仙台	42ポイント
4位	CMSC大阪	37ポイント
5位	CMSC埼玉	28ポイント
6位	CMSC群馬	24ポイント
7位	CMSC山形	24ポイント
8位	CMSC本部	18ポイント
9位	CMSC栃木	16ポイント
10位	CMSC千葉	15ポイント

●オープンクラス

1位	佐々木健太郎	青森	1'13"37
2位	対馬雅弘	青森	1'14"10
3位	佐藤政一	仙台	1'17"87

協賛スポンサーリスト(アイウエオ順)

IPF株式会社
青木科学研究所(ルブローレン)
株式会社アライヘルメット
株式会社伊勢丹
株式会社ウイングス・コーポレイション・ジャパン
株式会社エスエスリミテッド
エンパイヤ自動車株式会社
オーツタイヤ株式会社
カヤバ工業株式会社
株式会社キャロッセ
株式会社サミット
株式会社シスコジャパン(STP)
住友ゴム工業株式会社
株式会社タスカ・エンジニアリング
株式会社ツー&フォー
株式会社テスト&サービス
株式会社東京映像社
東洋紙業株式会社
栃木富士産業株式会社
日本特殊陶業株式会社
株式会社ブリヂストン
ボシュロム・ジャパン株式会社
ミシュランオカモトタイヤ株式会社
ミツワモデル
横浜ゴム株式会社
株式会社ラリーアート

悪天候に、エントラント、オフィシャル共に大奮闘。

CMSC栃木

'92スリーダイヤモンドジムカーナ

5月31日

去る5月31日に栃木県ジムカーナシリーズ第4戦'92スリーダイヤモンドジムカーナを、112台の参加を集め、日光スピードパークにおいて開催しました。

当日はあいにく朝から土砂降りの雨。エントラント、オフィシャル共に、まずは天候との闘いから幕が開いたという感じでした。コースに関しては、テクニカルな部分とハイスピードの部分を適度にミックス。エントラントには概ね好評だったようです。

今回は、A1クラスにミニカダンガン、ミラージュマリオンといったジムカーナにはちょっと不利ではないかと思われる車種が参加しており、またA2クラスではギャランE33Aがまったくノーマルの状態で出場するなど、今までのイベントではちょっと考えられないようなエントリーがありました。ただし、これらのエントラントは今回のジムカーナが初めての競技出場だった模様。主催者側の我々としては、今後戦闘力のある車に乗り換えて出場されることを今から楽しみにしています。

悪天候とはいえ、競技はオフィシャルの奮闘努力の甲斐あってスムーズに進行。三菱賞1位には、以前ダートトライアルで大活躍をみせていた、車辰二選手が入りました。それにしても、全身すっかりびしょ濡れになってしまったオフィシャルの皆さん、ほんとうに、本当に、ご苦労様でした。

（CMSC栃木　町田）

左から三菱賞1位車選手、2位柏渕選手、3位小川選手

全道一の豪華商品!?に、加熱気味のレース展開。

CMSC帯広

第8回コルトダートトライアル

8月23日

今年で既に8回目を迎えたコルトダートトライアル。これは、ダートラの底辺拡大を第一の目的として、主に初・中級者を中心に開催しています。ただし、この競技会、何しろ賞品が良いという点では全道一を誇ると言われるだけあって、賞品目当てに参加する上級者もチラホラ。1.8kmのハイスピードコースで20秒以上もの差がついてしまい、ガックリと肩を落とすエントラントも出る始末でした。

さて、三菱車がメインのAⅣクラスの結果ですが、山口選手が240馬力というギャランの意地をみせ、1－2本共にベストラップ。見事という他はない完全優勝を果たしました。続く2番手には馬淵ランサー。コンマ差で続く大健闘ぶりが光っていました。

（CMSC帯広　青沼　達也）

写真上、AⅣ1位の山口選手
下段左、2位馬渕選手
右、上より、3位斉藤(直)選手
6位斉藤(学)選手、4位小池選手

はりきり過ぎて大騒ぎ。大いに湧いた'92ダートラ

CMSC島根

'92チャレンジカップダートトライアル

7月26日

7月26日、比由スポーツランド山陰にて、当クラブの主催による日本海シリーズ、'92CMSC島根チャレンジカップダートトライアルを開催しました。

当日は晴れて、まさにダートラ日和。にもかかわらずエントリー台数は40台あまりと、いまひとつ。最近、全体的にエントリーが少なくなったと言われるダートラですが、やはり今回の場合もご多分に漏れず……というところだったようです。それならば「手が上がるくらい長いコースに」ということになり、2分30秒～3分程度のハイスピードコース(ストレートは500m.!!)にしたのですが……。エントラントの皆さんは幾分はりきり過ぎた様子で、転倒するやら、突き刺さるやらの大騒ぎ。昼すぎには終了する予定が、結局15時頃までかかってしまいました。

そんな中でも、相変わらずの強さをみせたのがA-IIIのギャラン。オーバーオールウィナーもギャランが獲得するところとなりました。ラリーアート賞では、表彰者から思わず「これだから三菱車はやめられない！」との声も出て、エントリー台数は少なめだったものの、まずまずの大会だったようです。来年に向け、これからもクラブ員一同頑張ります。

(CMSC島根　北脇　幹人)

三菱車のエントリー、21台にのぼる大盛況!!

CMSC香川

'92CMSCダイヤスターラリー

8月29日

去る8月29日、Aクラス12台、Bクラス21台、Cクラス22台、計55台のエントリーを集めて、CMSC香川恒例のCMSCダイヤスターラリーが開催されました。当日は天気も良く、なかなかのレース日和。9時1分にスタート会場である空港グランドホテルから、ゼッケン1番が第1ステージへと向かいました。

第1ステージはSS3カ所を含む約80kmで、Aクラスはゼッケン9番ミニカダンガンZZ-4に乗る福原・加藤組がトップ、Bクラスはゼッケン33番ミラージュに乗る山本・森田組が三菱車のトップ、Cクラスではゼッケン53番ギャランVR-4に乗る岩根・岡田組がトップとなっていました。

ギャランVR-4の岩根・岡田組

ミニカダンガンZZ-4の福原・加藤組

続く第2ステージは、SS4カ所を含む約70kmで行われ、トータルの結果はAクラスが1ステのアドバンテージを守りきった福原・加藤組のミニカダンガンZZ-4、Bクラスは山本・森田組のミラージュが3位、Cクラスは岩根・岡田組のギャランVR-4が2ステもトップで総合優勝して、三菱賞をものにしました。55台中、三菱車のエントリーが21台にのぼるという大盛況のうちに、お陰さまで無事ラリーを終えることが出来ました。

(CMSC香川　平尾　高王)

予想外のレース展開、気合いを入れて次回に期待！

ミラージュ東北第3戦

CMSM仙台　高橋　清

6月13、14日、仙台ハイランドのミラージュ東北第3戦に参加しました。予選の13日、天気は曇りながらコースはドライ。前回の第2戦で予選ポールポジションの東江選手が今回もポールを狙い、続いて今野選手が新しいエンジンと足まわりで東江選手を追うだろうというのが、レース前の周囲の予想でした。

9：52コースオープン。55分から15分間のタイムアタックが開始されましたが、意外に2台とも思うようにタイムがのびません。東江選手は3周目に2'10"455を出して14位、今野選手は4周目の2'12" 760がベストラップで、22位という結果に終わりました。上位を狙っていたドライバーとスタッフは、他チームの想像以上の速さに驚くばかり。川崎選手の2'07、三浦選手の2'08などコースレコードを更新した車両が5台も出て、ただもう「すごい!!」の一言でした。

14日の決勝当日、天気予報では雨の確率30%ということでしたが、運良く朝から晴れて絶好のレース日和となりました。車両保管解除とともに車を持ち出し、再度ブレーキ、足まわりなど念入りにチェック。「どうか上位にあがれますように」と祈るような気持ちで、ボルトを一本一本増締めした私でした。

9：30コースイン。前回3位入賞の東江選手は何とかして前に出たいところ。前回9位の今野選手も、スタートをうまく攻めて前よりいい成績を残したいとかなり気合いが入っている様子です。そして、9：48、12周レースがスタートしました。

東江選手は1台抜いて13位をキープしましたが、今野選手がスタートで何台か抜いたものの1コーナーでスピン！「ドライバーの思うように足まわりがきまっていないのだろうか……」と気がかりです。周回を重ねるにしたがって、東江選手は6位まで浮上し、今野選手は18位をキープ。2台とも激しく他車と競り合いながらもゴール、無事に完走しました。

東江選手は今回表彰台を逃したものの6位入賞、今野選手は18位と予選より4台上がったもののタイムが予選より落ちてしまい、がっかりした様子でした。今回のレースは、予想外の結果に終わってしまいましたが、それだけに次回8月1日の第4戦に向けて、スタッフ一同やる気満々。セッティングのきまらなかったところをもっと煮つめて、次は上位を狙おうと誓い合ったのでした。「頑張るぞ!!」

6位入賞の東江選手

次回に期待の今野選手

ゲストの日下部保雄選手のアドバイスが大好評！

CMSC仙台
'92ステップUPジムカーナin SUGO
7月12日

7月12日、スポーツランドSUGO国際カートコースにて、'92ステップUPジムカーナを開催。午前中はSUGOジムカーナシリーズを見学し、午後からのスタートとしました。当初の予定より6台ほど少なく、最終的に94台のエントリーとなりましたが、ゲストとして迎えた日下部保雄選手のワンポイント・アドバイスをもらったことで、エントラントからも好評をいただくことができました。

ステップUPジムカーナのコース設定ということで、コーナーを多くフルターンやスラロームも作り、ジムカーナの基本を学べるテクニカルコースとしました。エントラントには、自分の技量を確認しながら思う存分楽しんでもらえたようで、主催した我々としてもほっとしました。今年でまだ2回目の主催ですが、今後はシリーズ戦も開催できるように、クラブ員一同、より一層頑張っていきたいと思います。

（CMSC仙台　渋谷和彦）

日下部選手からのアドバイスを活かして表彰台に！

派手な前転宙返りに、思わずヒヤリ！の一幕も。

CMSC岩手
CMSCダートトライアル
7月26日

当クラブ主催による、'92ダートトライアルが、7月26日開催されました。前日はあいにくの小雨。大会当日は雨があがり、暑くもなく、絶好のコンディションとなりました。

会場は岩手高原ダートトライアル場。一般のギャラリーもかなり多く、開始直前、思わず何の事故も起きないことを祈りました。AM9：30、予定通り第1号車がスタート。ところが、第1ヒートに於て1台が転倒し、さらに第2ヒートでは見事なまでの前転宙返りを披露してくれる車も出る始末。どうなることかと、我々もギャラリーも一瞬ヒヤッとしましたが、幸いドライバーにはケガもなく、一同ホッと胸をなでおろすという一幕もあったのです。

上空ではパラグライダーが悠々と舞い、地上のハードスポーツとすばらしいコントラストを見せる中、大過なくレースは終了。結果、C-3クラスでは、ギャランVR-4を駆る及川光政選手が1'17"39のタイムで、またDクラスでは、ミラージュの本多博雄選手が1'25"11のタイムで、それぞれ優勝。レディス部門で優勝を飾った小山美知子選手は、賞品の自転車を手に「商品は自転車というウワサを聞いたので頑張りました。」とキュートな笑顔で一言。3年ぶりの主催ということで不安な要素も多かったのですが、皆様のご協力により、大会を無事終了することができました。ありがとうございました。賞品の豊富さにはちょっと自信があるCMSC岩手を、皆様どうぞ今後ともよろしく!!

（CMSC岩手　佐々木　学）

▲及川選手の走り

狙いどおりの自転車獲得▶

相変わらずの強さを見せる上位陣／山形・青森。

前回トップの山形は、現在までに911ポイントを獲得。相変わらずの強さを見せて、今期間も引き続き1位を走っています。ラリー・ドライバー部門、ラリー・ナビゲーター部門、スラローム部門、レース部門と、各部門とも上位に食い込む選手が輩出。圧倒的な選手層の厚さが、山形の強みと言えるでしょうか。続く青森も、708ポイントと大いに健闘しており、追い上げに懸命といったところ。まだまだこのポイントレース、先が読めない感じです。3位には群馬、そして香川、岐阜、札幌、帯広と続いていますが、それぞれ非常に僅差の闘い。厳しいだけに、おもしろいレース展開が予想されます。

●クラブ別獲得ポイント

	1〜5月	6〜8月	9〜11月	12月	合計
山形	425	486			911
青森	318	390			708
群馬	360	192			552
香川	222	308			530
岐阜	253	195			448
札幌	242	199			441
帯広	275	155			430
岩手	149	144			293
島根	122	118			240
愛知	71	74			145
仙台	64	35			99
埼玉	64	19			83
大阪	46	30			76
栃木	42	24			66
千葉	4	62			66
福島	―	―			―

●ラリー・ドライバー部門

鷲見宏康	岐阜	64
渡辺俊昭	山形	44
対馬雅人	青森	42
勅使川原光	千葉	24
中田裕二	大阪	24
工藤長実	岩手	23
坂本　均	青森	20
石田隆雄	青森	20
小林正夫	群馬	16
小出辰彦	愛知	14

●ラリー・ナビゲーター部門

朝岡達也	愛知	46
今野泰正	山形	44
対馬隆志	青森	42
山崎茂樹	青森	40
浅沼高典	岩手	23
金子誠司	群馬	16
因　俊郎	愛知	14
中村洋次	帯広	9
金子友幸	栃木	6
工藤　守	岩手	4

●ダートトライアル部門

宝田芳浩	札幌	172
高竹優之	香川	160
櫛田正文	岐阜	116
杉山敏夫	山形	111
渡辺　康	山形	91
及川光政	岩手	84
白井　修	香川	78
近藤健司	香川	70
岩田恒廣	群馬	69
菅野　茂	山形	68

●ジムカーナ部門

小館　久	青森	120
佐々木健太郎	青森	90
赤羽政幸	山形	32
佐藤高広	仙台	12
杉坂啓一	島根	10
川名宏樹	仙台	9
古藤浩美	島根	5
北脇幹人	島根	5
神田昌明	島根	3
植田智則	島根	3

●レース部門

小川日出生	山形	80
瀬在仁志	埼玉	14
川口法行	栃木	10
鈴木一彦	山形	10

●ポイントのつけ方　リタイアには予選不通過も含む

		1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位	11位以下	リタイア
ポイント	A	40	30	24	20	16	12	10	8	6	4	2	0
	B	20	15	12	10	8	6	5	4	3	2	1	0

A＝　ラリー………全日本選手権、JMRC地区最上級シリーズ
　　スラローム…全日本スピード行事選手権、地方スピード行事選手権、JMSCシリーズ
　　レース………全日本選手権、地方選手権、ミラージュカップ
B＝　それ以外の競技会

発行年月日：1992年10月1日　発行人：外川一雄　編集：㈱ラリーアート　〒108 東京都港区芝5-33-8 三菱自動車ビル ☎03-5232-7682